



# 野田新首相 国民裏切る言動

野田新首相の言動を見てみました。

## 消費税増税 来年通常国会に法案

09年総選挙で民主党は、消費税を「4年間は上げない」と公約。ところが野田氏は、消費税増税法案の提出について「一体改革で来年の通常国会に法律を提出することになっている。出さない議論はありえない。当然、秋口に税制の抜本改革をやる」（代表選）

## 原発 「再稼働ありき」

原発政策では「菅内閣から後退するのでは」と指摘されています。停止中の原発について「再稼働していかないといけない」（代表選）「再稼働できるものについては再稼働する」（代表選出馬表明）

## 外交・安保 「沖縄新基地」推進

「日米同盟が基軸であり、それをさらに深化させる」（政見）  
辺野古に米軍新基地を建設する「日米合意」について「合意を踏まえ、菅政権の政策は継承していきたい」と新代表選出後の記者会見で早々と明言。

## 歴史認識 「党内の右翼」とアジア警戒

2005年10月に「A級戦犯は戦争犯罪人ではない」とする質問主意書を提出。代表選直前にも「考え方は基本的に変わらない」と発言。  
アジアからは「民主党内の右翼」（韓国・聯合ニュース）と警戒する報道が流れています。

## 財界が 天まで 持ち上げ

日本経団連の米倉会長は、野田氏が民主党代表になったことを手放して歓迎。「税制、社会保障に通じた非常に安定した行動力のある政治リーダーだ」「菅直人首相とは首から上の質が違う」と天まで持ち上げています（8月29日）。

公約違反の道に未来なし

# 「政治変えて」の願いに背

民主党・菅政権の1年3ヵ月

菅直人首相の退陣は、一昨年の総選挙で「自民党政権を変えてほしい」という願いを裏切り、国民の信任を失ったことの帰結です。

## ●原発 大增設路線決める

菅首相の初仕事は、「エネルギー基本計画」の策定。2030年までに総発電量に占める原発の割合を50%超にし、14基以上の原子炉を新增設するというもの。  
福島原発事故が起きると、浜岡原発の停止要請をしましたが、定期検査で

停止中の原発の再稼働を容認。「脱原発依存」を表明したものの、一転「私自身の考え」と混迷しました。



▲福井県・高浜原発

## ●消費税 増税に最後まで執念

最後まで消費税増税に執念。消費税増税を参院選の大争点にして大惨敗。しかし反省せず、「消費税を含め、税制全体の議論を進めたい」と表明。「税と社会保障一体改革」では、2010年代半ばまでに消費税を段階的に10%まで引き上げ、法人税を減税する「成案」を決定しました。



## ●TPP 財界と二人三脚で推進

「例外なき関税撤廃・自由化」で農業や地域経済・雇用に大打撃を与えるTPP(環太平洋連携協定)。所信表明演説で「参加検討」を打ち上げ、「関係国との協議開始」を明記した閣議決定を行いました。

TPP推進の財界3団体代表を前に「TPPなしに日本の再生はない」と表明。来日した米副大統領に対し「震災の影響で検討が遅れたが、できるだけ早期に判断したい」（8月）と最後まで推進姿勢を変えませんでした。

